

Japanese Forum For Winter Sports Sciences

冬季スポーツ科学 研究会

東京フォーラムの報告

さいたまフォーラムのご案内

2002 年 10 月 14 ・ 15 日

(祝) (火)



国立スポーツ科学センターでの懇親会 (2001 年 11 月 10 日)

2002 年 6 月 05 日発行

報 告

第12回 冬季スポーツ科学フォーラムから

2001年11月10、11日

国立スポーツ科学センター

特別講演「スポーツ情報部のねらい」

宮地 力 (国立スポーツ科学センター)

スポーツ情報部がどのような形で情報発信していこうとしているのか、そのアイディアをお話いただいた。特にスポーツ情報をどのように映像化していこうとしているのか、そのプランの一端を見せていただいた。



シンポジウム 座長 浅野勝己

●前嶋 孝 (専修大学)



「ソルトレイクからヴァリーフィエメへ
— 国立スポーツ科学センターに望む —
スピードスケートの立場から」

低酸素トレーニングが競技力向上に果たした役割と、国立スポーツ科学センター等の低酸素室の活用について提案された。

●勝田 隆 (仙台大学)

「JOC 情報・戦略プロジェクトの役割と活動」

JOC の Gold Plan 等の紹介を通じて、選手のサポートには、競技会場や宿泊、交通、キーパーソンの把握など総合的な情報力が必要と強調された。



●川初清典

「ノルディック複合競技の立場から」

国立スポーツ科学センターの低酸素室を使ったノルディックナショナルチームの報告。

●渡部和彦

「スキー研究の現在と課題」

— 21 世紀の冬季スポーツ研究と施設・システムのあり方 —

冬季スポーツの科学的研究の歴史と、ナショナルセンターの必要性を強調。



一般発表

座長 袖山紘 佐藤 佑

1. 高橋 寛（長野県スケート連盟）

「現場に活かす・・・

乳酸値等の測定と暑熱環境計の問題点」

手軽に計測できる暑熱環境計を示しながら、スケート選手たちの合宿中のコンディショニングについて話していただいた。長野オリンピック以来、高橋寛氏には毎年、発表していただいている。



2 三浦 哲（兵庫教育大学連合大学院）

「全国高等学校スキー大会男子大回転における三次元動作分析」

理想的なカメラロケーションから撮影された映像をもとに、動作分析されたデータを紹介していただいた。



3. 山本啓三（北海道大学大学院工学研究科）

「表面タフト法による

スキージャンパー近傍気流解析のための基礎的検討」

自動車の屋根に、スキージャンパーのスーツを着たマネキン人形を乗せ、スーツに着けたタフト（布切れ）の動きをビデオ撮影した時のデータを紹介していただいた。

撮影できませんでした

4. 渡部和彦（広島大学）

「翼面荷重理論にもとづいた

ジャンプスキーの長さの決定」

ジャンプスキーの長さについてのルール変更が、選手に過激な減量を強いている問題を指摘し、新たな理論による合理的なスキーの長さの決め方について、提案された。



5. 水崎一良（広島大学大学院教育学研究科）

「スキージャンプ姿勢調整に関する研究」

スキージャンプのビデオ撮影によって得られたデータと、風洞実験によって得られた力のデータを組み合わせて、飛行中のジャンパーに加わる力を推測し、ジャンパーが空中姿勢をどのように調整しているのか、考察された。



6. 高野 大（上越教育大学大学院）

「全国高等学校スキー大会男子回転における三次元動作分析」

スキー選手を上位群と下位群に分けて旗門通過時の動作の違いを分析。ターンの外側のスキーの扱いより、ターン内側のスキーの扱いに技術の差が現われることを指摘された。



参加者スナップ

(全員ではありませんが・・・) 敬称略



河田 絹一郎

金井 泉寿
自衛隊体育学校堀 伸人
仙台大学

三浦 望慶



柴田 卓 八津尾 紘之

室岡 洋司
上越教育大学三好 英次
全日本スキー連盟小林 達生
信濃毎日新聞松下 達夫
陸上自衛隊仙台

浅野 勝己

船渡 和男
国立スポーツ科学センター大森 亮
上越教育大学大学院

池上 康男

竹田 唯史
北海道浅井学園大学張 元
広島大学大学院



繁田雅樹
やまびこスケートの森



田村恵司
広島県立瀬戸田高校



田中 淳
全日本ウィンター
スポーツ専門学校



天野孝三
広島大学



鈴木省三
仙台大学



佐藤 佑
仙台大学



袖山 紘
金城学院大学



川初清典
北海道大学



飯塚邦明
東大能力研修舎



国立スポーツ科学センターの
レストランのご飯は3つのサ
イズ。それぞれにカロリー表
示が。



自分がセルフサービス
で取ったメニューボタ
ンを押すと、すぐに栄
養バランスの評価が表
示されるシステム。



-(株)ウィルの佐藤さんから低酸素テントの
デモンストレーションをうける参加者たち。



館内見学。(株)ベルテック・ジャパンのマスクと
送信機を着け、巨大モニターを見ながらトレッド
ミルを走ってみる参加者。

さいたまフォーラムのご案内

2002 年 10 月 14・15 日
(祝) (火)

冬季スポーツ科学フォーラムのホームページを、広島大学の水崎さん、山辺さんたちが作ってくれました。

アドレス <http://home.hiroshima-u.ac.jp/tospo>

今年のフォーラムの予定、入会方法等が載っています。ぜひ、ご覧ください。

《さいたまフォーラムの日程》

10/14(祝) 第 1 日目 受付 一般発表 懇親会

10/15(火) 第 2 日目 一般発表 特別講演 シンポジウム 総会

●シンポジウムの内容 「ソルトレークの反省と対策：
冬のスポーツトレーニングセンターを考える」

会場 埼玉大学 大学会館

参加・発表の申込 8 月 10 日 (土)

抄録締切 9 月 14 日 (土)

参加費 一般 2,500 円 学生 800 円

☆同封の振込用紙で郵便局よりお振込みください。



会場となる埼玉大学の大学会館

新会員募集中

冬季スポーツ科学に関心のある方、歓迎します。先生方、学生さんにご紹介ください。

年会費 一般 2000 円 学生 1000 円

会費納入のお願い

本年度分の会費をお納めいただく時期となりました。同封の振込用紙でお願いいたします。本年度のさいたまフォーラム参加費も、いっしょに振り込むことができます。ぜひ、振込明細を書いてください。

13th
Japanese Forum for Winter Sports Sciences
in SAITAMA

2002 年 10 月 14, 15 日 埼玉大学 大学会館

fax 参加申込票 8/10 までに

氏名

所属

連絡先 電子メールアドレス

住所 〒

電話

fax

研究発表を する しない (どちらかに○)

懇親会に参加 する しない (当日、集金)

送金金額計算

参加費 円 (一般 2500 円 学生 800 円)

e-mail でのお申込は、上記内容を明記のうえ、下記のアドレスまで

tokisports@hotmail.com

フォーラムのホームページからお申し込みいただけます。

送金先

郵便局

口座番号 02 広島 01390 - 6 - 32954

冬季スポーツ科学研究会

(同封の振込み用紙に記載されています。)

会場案内

埼玉大学

〒338-8570 さいたま市下大久保 255

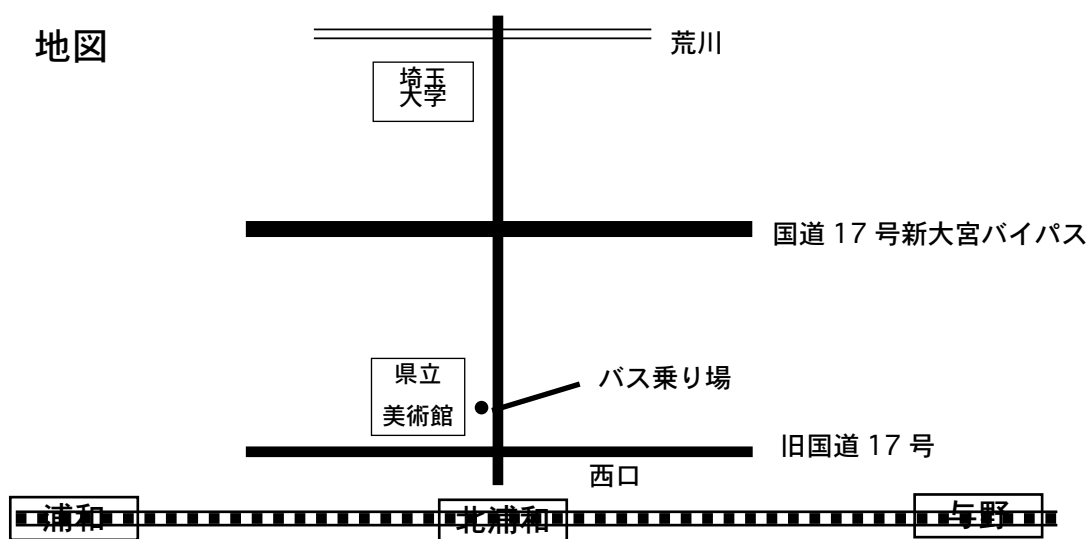
交通 京浜東北線 北浦和駅西口下車

埼大行き バス 15 分 埼大下車



埼玉大学正門

地図



宿泊のご案内

浦和駅周辺

浦和ワシントンホテル 048-825-4001 さいたま市高砂 2-1 (駅 5 分) single ¥8600

浦和パインズホテル 048-827-1111 さいたま市仲町 2-5-1 single ¥12000

北浦和駅周辺

グリーン (駅 5 分) 048-831-2850 さいたま市常盤 9-17-10 single ¥5700

ホテルときわ (和室) 048-831-3929 さいたま市常盤 9-16-8 お一人 ¥5500

冬季スポーツ科学研究会

事務局 〒739-0046 東広島市鏡山 1-1-2 広島大学教育学部

健康スポーツ科学講座

渡部和彦

直通電話 0824-24-6840 直通 fax 0824-24-5265

会報作成 飯塚邦明 電話 fax 048-874-3159

